

2024年

8月号

No.509

日本赤十字社 富山赤十字病院広報誌

やすらぎ

TAKE FREE
ご自由にお持ち帰りください

I N D E X

- マムシに咬まれても、、、
- 認知症サポーター養成講座について
- 皆さまの声



『マムシに咬まれても、、、』

皮膚科部副部長

中尾 将治

なかお まさはる

夏はキャンプやハイキングなどで屋外に出かけることが多くなると思いますが、屋外で活動する際にはハチやダニなどの虫だけではなくマムシなどの毒蛇にも注意が必要です。マムシは日本に棲息する代表的な毒蛇で、初夏から秋にかけて活発に活動します。全長は40～60cm程度で性格のおとなしい蛇ですが、気付かずに踏みつけたり手を伸ばしたりすると咬まれることがあります。マムシに咬まれた場合、針で刺したような牙痕が1～2ヶ所に残ります(時には3ヶ所または4ヶ所のこともあります)。そして、比較的短時間で腫脹と共に激しい痛みが出現します。無毒の蛇では咬まれた後に牙痕が残ることは無く、腫脹や痛みも出現しません。マムシ咬傷では時間の経過と共に、腫脹や痛みが強くなり、やがて全身性の出血や急性腎不全が起こることがあります。また、まれに腫脹がわずかでも毒が血管内に多量に入った場合には、数時間で顕著な全身性の出血を引き起こすこともあります。従ってマムシ咬傷では原則として入院での治療や経過観察が必要となります。

もし屋外での活動中にマムシに咬まれた場合、焦って走り出したりすると全身の血流がよくなり、毒が広がりやすくなります。慌てず、落ち着いて医療機関を受診するようにして下さい。また、止血を試みたり、毒を吸い出す、ポイズンリムーバーなどの救急用器具の使用は、適切な指導を受けた熟練者以外が行うと、かえって状況を悪くすることがあるので注意が必要です。治療には抗毒素血清を用いることがありますが、どこの病院にも置いてあるわけではありません。判断に困る場合は受診の前に医療機関に問い合わせてください。



理 念

人道・博愛の赤十字精神にもとづく良質で安全な医療の提供

基本方針

- 1 患者さん中心の医療を提供します
- 2 より安全で高度な医療の実践を目指します
- 3 地域医療に貢献する病院を目指します
- 4 災害救護ならびに医療社会奉仕に努めます
- 5 次代を担う医療従事者を育成します
- 6 働きがいのある病院運営に努めます
- 7 健全経営の維持に努めます

患者さんの権利

病院の「理念」・「基本方針」にもとづき患者さんが安心して医療を受けることができるよう、以下の権利を大切にします

- 1 個人の尊厳が守られる権利
- 2 プライバシーが保障される権利
- 3 適切な情報と説明を受ける権利
- 4 自ら医療行為を選択する権利
- 5 適切で最善の医療を受ける権利
- 6 子ども達が分かりやすく心のこもった医療を受ける権利

患者さんの責務

医療は患者と医療者との協同作業です。より適正な医療提供のため、以下の責務について十分ご理解をいただき、ご協力をお願いします

- 1 ご自身の健康状態に関する正確な情報をお伝えください
- 2 医療者と力を合せて診療に参加し、最大限の治療効果を発揮できるようにご協力ください
- 3 病院のルールに従い、院内での迷惑行為は慎んでください
- 4 受けた医療に対し、診療費をお支払ください

認知症になっても安心して暮らせる

地域を目指して認知症を学びませんか？



認知症サポーター養成講座について

認知症ってどんな病気？認知症の人とどんな風に接したらいいの？

認知症サポーター養成講座では、認知症についての正しい知識や接し方について学ぶことができます。「キャラバン・メイト」が講座の先生として企業や学校、自治公民館などに来て、認知症についてわかりやすくお話しします。

だれでも年をとるほど、認知症になる可能性が高くなります。

家族や身近な人のために、認知症について一緒に考えてみませんか？

愛宕・安野屋地域包括支援センター

（富山赤十字病院内5階西側）では地域住民や企業にお勤めの方、開業医スタッフ、病院スタッフなどを対象に「認知症サポーター養成講座」を開催しています。



地域住民への養成講座



受講修了者には、認知症サポーターの目印である「認知症サポーターカード」をお渡しします。



病院スタッフへの養成講座

認知症サポーターとは認知症について正しく知って、認知症の人やその家族を温かく見守る「応援者」です。

お問合せ・お申込みは、担当地区の地域包括支援センター、または富山市長寿福祉課へご連絡をお願いします。



愛宕・安野屋地域包括支援センター職員

皆さま の声

このコーナーでは、『皆さまの声』(ご意見箱)等にお寄せいただいたご意見・ご要望に対する当院の対応、お礼の投書についてお知らせします。(令和6年3月1日～令和6年4月30日回収分より抜粋)

投書箱は正面玄関・やすらぎホール・各病棟に設置しております。

ご意見・ご要望

◆外来患者です。2階の3～4名の女性スタッフの態度が悪く、いつも不愉快な思いをしております。そのスタッフの仕事場は、会計の左側にある地域連携受付、右は初めての方です。

その態度の悪さは、お会計とか他の用事で来て、イスにすわっている人達を見て、3～4名集まって、じろじろひそひそひそ、こそこそと悪口を言っているのです。当然私と家族も含んでおります。

悪口、噂話をしたいのならば、壁の方を向いて話すとか、自分達の自由時間に話すべきでしょう。職場を井戸端会議にするなど、このおばさん達は、仕事場を何だと思っているのでしょうか。そして何よりもこのおばさん達の教育は、どうなっているのでしょうか？日赤の職員である事を鼻にかけ(職員なのか、ハケンなのかは、私達は知りませんが)こんなに好き放題な態度をとっていても、病院自体の雰囲気はすごく悪くなります。患者さんは言い換えれば、お客さんなのです。責任者の方には、強くこの女性達に注意される事を望みます。

「病院からの回答」

◇この度はご不快な思いをさせてしまい大変申し訳ございません。

今回のご意見を踏まえ、職員間で勤務中の会話について話し合い、注意喚起を行いました。

今後は「常に見られている」という意識を持って業務に臨み、勤務中に私語を慎むことはもちろん、場をわきまえた会話を徹底したいと思います。

また、患者さんの気持ちを第一に考え、来院してよかったと思われるよう、誠意ある真摯な対応に努めてまいります。貴重なご意見を頂き、ありがとうございました。

ご意見・ご要望

◆診察室入口のドアや壁に貼紙が多すぎ。どこがドアの取っ手かわかりにくい！

「病院からの回答」

◇この度は貴重なご意見を頂きありがとうございます。ドアの周辺に新しい短期間のお知らせを多数掲示しておりましたが、経過期間を確認し、掲示場所や枚数などを見直しました。今後は患者さんに分かりやすい掲示となるように努めてまいります。

ご意見・ご要望

◆〇科の〇〇先生に診てもらっています。毎回5～6時間待ちは当たり前、今日は7時間半待ちました。90をこえる高齢者は体がぼろぼろです。近くの先生に診てもらいたいと言ってもダメと言われます。こんなことをしていたら親はいつか倒れます。待ち合いで他の人も同じように言っています。病院として改善して下さい。絶対にお願います。

「病院からの回答」

◇この度は外来の待ち時間が長く不快な思いをさせてしまい申し訳ございません。予約時間を過ぎた患者さんへの説明の不足や、適切に案内表示がされないことなど、お待ちいただいている患者さんへの配慮に欠けていたと思います。また、診療にあたって他院紹介の希望に添えず誠に申し訳ありませんでした。当院では病状が落ち着いている方については、積極的にかかりつけ医院に紹介させていただいています。今後も患者様やご家族の意向にできるだけ沿いながら、病態が安定している場合は、かかりつけ医院への紹介を励行するよう心がけてまいります。宜しくお願いたします。

お礼の投書

●8階、7階病棟スタッフの皆様 長い間、大変お世話になりました。先生、看護師さん、薬剤師さん、配膳や清掃等、多くの方々に感謝申し上げます。特に看護師さんには一言では言い表せない気持ちでいっぱいです。医療行為だけでなく、身の回りの事、相談も含めて、大変なお仕事だと思いました。職業上の使命感だけでは、到底出来なく、高い志を持って当たっておられると感じました。これまでの人生で、周りの人に対する感謝の気持ちを改めて強く持ちました。私も早く体力を回復し、社会に恩返し出来る様、頑張ります。本当にありがとうございました

お礼の投書

●5階の病棟の看護師さんの〇〇さんには、心からお世話していただき、いろんな意見として個人としての思い etc いろいろかがい、ありがたかったです。本当に気持ちの入ったすばらしい看護師さんです。ありがとうございます。

これからも患者様にご満足いただける病院づくりに、職員一同努めてまいります。



8月・9月健康教室等のお知らせ 患者さん、ご家族の方、お気軽にご利用ください。【お問い合わせ】電話(076)433-2222 医療社会事業課(内線 2322)					
名称	内容	実施日 祝祭日除く	時間	場所	申込窓口
やすらぎの会	ミニレクチャー がん放射線治療について学ぼう (講師：放射線治療医師)	8月開催なし 9月12日(木)	14:00～14:30 交流会:14:30～15:00	病院3階討議室	がん相談スタッフ 申込不要
ライラックの会	血液内科疾患 患者・家族・医療スタッフの会	当面の間中止			
クロスサロンとやま	ピアサポーターによるサロン	8月21日(水)	13:30～15:30	正面玄関 多目的室	がん相談スタッフ 申込不要
がん相談支援センターでは、がんに関する相談をお受けしております。お気軽にご相談ください。					
糖尿病指導コース (要申込)	運動の話と実技(実技は主治医の許可を受けてください)	8月8日(木)・22日(木) 9月12日(木)・26日(木)	14:00～16:00	正面玄関 多目的室	医師 検査技師 看護師 理学療法士 薬剤師 管理栄養士
	検査の話 食事の話				
	病気の話 薬の話 生活の注意点 (第2水曜日のみ「口腔衛生について」)	8月14日(水)・28日(水) 9月11日(水)・25日(水)			
腎臓病教室 (要申込)	屋食会	当面の間中止			
	病気の話 食事の話 生活の注意点	8月15日(木) 9月19日(木)	14:00～15:00	正面玄関 多目的室	医師 管理栄養士 看護師 主治医
禁煙教室	ミニレクチャー 第三回 タバコは全身病 ～自分と家族のために、禁煙・卒煙のすすめ～ 「禁煙治療薬」ってどんなもの？ ～疑問にお答えします～	8月16日(金) 9月20日(金)	15:00～15:30	健診センター	医師 薬剤師 申込不要
	笑顔で育児がスタートできる！パパ・ママクラス 無痛分娩クラス	8月2日(金) 9月6日(金)	13:00～14:30 14:30～15:30	正面玄関 多目的室 8月2日(金)・16日(金)・9月6日(金)・9月20日(金) zoom開催	助産師 管理栄養士 歯科衛生士 産婦人科 外来
安産教室 (要申込)	妊娠前半期クラス 元気な赤ちゃんを迎えるために整えよう身体と心	8月9日(金) 9月13日(金)	13:00～15:30		
	妊娠後半期クラス 赤ちゃんと一緒に！いいお産と母乳育児	8月16日(金) 9月20日(金)			
赤ちゃんのここにごご飯 (要申込)	妊娠後半期クラス 赤ちゃんと一緒に！いいお産と母乳育児	8月23日(金) 9月27日(金)			
	食育教室 病院ホームページの『診療科・部門』>『栄養課』>『栄養管理、栄養指導の提供、チーム医療への参加』をご覧ください。	8月8日(木) 9月12日(木)	10:00～11:00	正面玄関 多目的室	管理栄養士 栄養課
のびのびサークル	母乳育児期間中の母子のつどい 病院ホームページの『出産』>『のびのびサークル(ママサークル)』をご覧ください。	8月28日(水) 9月25日(水)	10:00～11:30 (zoomへの入室は9:40～)	正面玄関 多目的室又は 教育研修棟3階講堂 zoom開催	自助サークル 病院ホーム ページ
	赤十字 救急法基礎講習 救急員養成講習 (要申込)	基礎講習: 8月16日(金)・9月8日(日) 養成講習: 8月17日(土)・18日(日)	9:00～16:30	日本赤十字社富山県支部	救急法 講習指導員 日本赤十字社 富山県支部 451-7878